

## 平成27年第11回弘前市教育委員会会議録

日時 平成27年7月17日（金）

場所 中央公民館岩木館2階大研修室

### ◇議事日程

- 1 定足数確認
- 2 開会宣告
- 3 会議録署名者の指名
- 4 会期決定
- 5 議案の審議  
議案第20号 史跡大森勝山遺跡整備指導委員会運営規則案  
議案第21号 弘前市奨学金貸与者の決定について  
議案第22号 平成28年度から使用する中学校用教科用図書の採択について
- 6 閉会宣告

### ◇付議事件

議事日程に同じ

### ◇出席委員

- 1番 九戸 眞樹 委員、2番 前田 幸子 委員、3番 佐々木 健 委員、  
4番 土居 真理 委員、5番 一戸 由佳 委員

### ◇説明のため出席した者の職氏名

教育部長 柴田 幸博、教育政策課長 鳴海 誠、学校教育推進監兼学校教育改革室長 櫛引 健、学務健康課長 後藤 千登世、学校指導課長兼教育センター所長 佐藤 忠浩、生涯学習課長 鈴木 卓治、文化財課長 三上 敏彦、弘前図書館長兼郷土文学館長 土谷 伸夫、博物館長 長谷川 成一、教育センター所長補佐 石川 みどり、学校指導課指導主事 三上 俊英、学校指導課指導主事 森 尚生、学校指導課指導主事 前田 清幸、学校指導課指導主事 工藤 利彦、学校指導課指導主事 三ッ橋 一弘、学校指導課指導主事 小笠原 恭史、学校指導課指導主事 後藤 光生、学校指導課指導主事 土岐 賢悟、学校指導課指導主事 宮本 隆嘉

### ◇出席事務局職員

教育政策課長補佐 高谷 由美子、教育政策課総務係長 前田 修、教育政策課総務係主事 千葉 秀克

---

午後1時38分 開会

○委員長（九戸眞樹委員） それでは、ただいまの出席者数は5名で定足数に達しておりますので、これより平成27年11回弘前市教育委員会会議を開会いたします。会議録署名者に2番前田幸子委員と3番佐々木健委員を指名いたします。

会期は本日1日といたしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認め、会期は本日1日といたします。

本日の案件は、議案が3件ですが、議案第21号については、奨学金の貸与候補者の個人情報に関する事項が審議されること、また、議案第22号については、審議の結果が当市と同じく中弘地区教科用図書採択協議会に加入している西目屋村教育委員会での審議に影響を及ぼすおそれがあることから、これらの議案の審議については、弘前市教育委員会会議規則第12条第1項ただし書きの規定に基づき、これを公開しないこととしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認め、議案第21号及び議案第22号は、非公開で審議することといたします。なお、非公開とした議案及び関係資料は、会議終了後に回収しますので、お持ち帰りしないようお願いします。

・議案第20号について

○委員長（九戸眞樹委員） それでは、議案第20号史跡大森勝山遺跡整備指導委員会運営規則案について、事務局から説明をお願いします。

○文化財課長（三上敏彦） 議案第20号史跡大森勝山遺跡整備指導委員会運営規則案について説明いたします。

提案理由であります、6月第2回定例会において史跡大森勝山遺跡整備指導委員会などの設置に係る弘前市附属機関設置条例の一部を改正する条例案が可決されたことから、史跡大森勝山遺跡整備指導委員会の運営について、条例で定めるもののほか、必要な事項を規定するため規則を制定しようとするものであります。

第1条は規則の趣旨を記しており、第2条は委員が欠けた場合の扱いと再任について、第3条は委員長などを定める旨を、第4条は会議に関する定めを、第5条は庶務は文化財課において処理する旨を、第6条は委員長の委任に関する事項を定めるものであります。

附則として、第1項は公布の日から施行する旨を、第2項は最初の整備指導委員会の招集について記したものであります。以上です。

○委員長（九戸眞樹委員） ただいまの説明に対しご質疑等ありませんか。

ないようですので、それでは議案第20号を可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認めます。よって議案第20号は原案どおり可決されました。

・議案第21号について

○委員長（九戸眞樹委員） それでは、議案第21号の審議にあたり、関係課長以外の退席をお願いします。

それでは、当日配付の議案を配付いたさせます。

議案第21号弘前市奨学金貸与者の決定について、事務局から説明をお願いします。

（非公開で審議 － 原案どおり可決）

・議案第22号について

○委員長（九戸眞樹委員） 次に、議案22号の審議に移りますが、準備がありますので暫時休憩します。

（休憩 教科書の搬入確認）

○委員長（九戸眞樹委員） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

それでは、当日配付の議案を配付いたさせます。

議案の審議を行いますが、議案第22号の質疑等につきましては、教科用図書毎に説明と質疑応答を行い、最後に全体を通して質疑意見等がございましたらお伺いします。それでは、議案第22号平成28年度から使用する中学校用教科用図書の採択について、事務局から説明をお願いします。

○学校指導課長兼教育センター所長（佐藤忠浩） 議案第22号平成28年度から使用する中学校用教科用図書の採択について説明いたします。

提案理由といたしましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号の規定に基づき、平成28年度から使用する中学校用教科用図書を採択しようとするものであります。

このことにつきまして、中弘地区教科用図書採択協議会の報告を受けた研究調査の経過、及びこの後の指導主事の説明の仕方等について説明いたします。

まず、研究調査についてであります。5月26日第1回中弘地区教科用図書採択協議会で決定された採択基準及び規約等に基づきまして、6月30日から7月3日にかけて研究調査会を実施いたしました。その際の研究調査の結果が「平成28年度使用中学校用教科用図書研究調査報告書」にまとめられております。

それから、7月14日第2回採択協議会において、これらの調査研究に基づき主査から研究調査報告がなされ、種目ごとに選出されました。これについては、「平成28年度使用中学校用教科用図書選出理由」をご覧くださいと思います。なお、今回の採択で現在使用している教科書と変更となった種目は、技術・家庭科の家庭であります。

次に、指導主事からの説明について説明いたします。中弘地区教科用図書採択協議会からの報告に基づきまして、これより指導主事から説明いたしますが、国語から順番に15種目について説明いたします。説明の時間といたしましては、1種目概ね4分ほどであります。説明の仕方ではありますが、第2回採択協議会で選出された教科書について、報告のあった主な特色を説明いたします。その他の教科書につきましては、研究調査報告書をご覧ください。

なお、お手元にお配りする教科書につきましては、選出された教科書のほかに、今回の研究調査で特に配慮・工夫がみられたとされる2社あるいは1社のものがあります。その他の教科書につきましては、委員長の前に1組用意いたしますので、必要に応じてご覧いただければと思います。それでは国語から説明いたします。

○学校指導課指導主事（前田清幸）　　《国語について説明》

○委員長（九戸眞樹委員）　ただいまの教科用図書「国語」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。

○3番（佐々木 健委員）　小学校から中学校への繋がりを見ると、光村図書が一番自然な感じで深めていけると感じました。

○1番（九戸眞樹委員）　国語は、すべての教科書を見させていただきました。光村図書は、イラストや写真が多用されていて1年毎のまとめも大変すばらしいと感じました。今どのような教科書を使っているかわからないままに見ましたが、評価が高かったです。

また、例えば「走れメロス」を見ますと、過剰なイラストがあるものと文章で想像させるものがあり、過剰なイラストは必要ないと感じました。もし、絵が付いていたとしても、できるだけ芸術的でアートな作品が載っているものいいと思いました。

その他には、学校図書が「きずな・生命・群像」というようなまとめ方をしている、文学を志す人にとっては魅力あるまとめ方をしていると感じました。

○2番（前田幸子委員）　光村図書を実際開いてみますと、非常に音がします。耳障りで気になります。気が付きませんでしたか。

○学校指導課指導主事（前田清幸）　気が付きました。改善されていくものと思っております。

○2番（前田幸子委員）　先程の説明の中で、道徳教育との関連付けを具体的に説明していただきましたが、他の教科書は道徳教育との関連付けをどのように捉えていますか。

○学校指導課指導主事（前田清幸）　道徳はこれから教科化に向かって、いろいろな教科の中で道徳的心情や道徳的实践力を育成する目的で各教科とも各出版社が力を入れてきている部分であります。光村図書は、はっきり見える形で心情を養うということを全面に押し出してきておりましたので、それも一つの推薦理由としております。

○委員長（九戸眞樹委員）　他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員）　次の教科用図書の説明をお願いします。

○学校指導課指導主事（前田清幸）　　《書写について説明》

○委員長（九戸眞樹委員）　ただいまの教科用図書「書写」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。

○1番（九戸眞樹委員）　光村図書の「3年間のステップ」がとてもわかりやすく、資料編も大変役に立ち、自分もほしいと感じるくらい実用的で、今の私たちの生活の中で使えると思います。また、壁新聞を作るためのいろいろなアイデアをこうい

ところから得られればいいと思います。

○2番(前田幸子委員) 学校図書に篆刻を体験しようというのがあります。中学校でもこの篆刻をやっていますが、学校図書は断定的に高校の授業で篆刻を作る時間があるとしてしまっているところが非常に気になり、もう少し研究してほしいと思いました。中学校でも篆刻をやっている美術の授業があります。

○4番(佐々木 健委員) 篆刻についてはセットになっているものがあります。

学校図書の内容は、高校の美術の授業ではなく書道の授業にこの篆刻をやらせるという意味ですか。

○5番(一戸由香委員) 選択書道を取れば、このひらがなとかではなく隷書体・篆書体を学んだ上で篆刻をします。

○委員長(九戸眞樹委員) 他にご質疑等はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(九戸眞樹委員) 次の教科用図書の説明をお願いします。

○学校指導課指導主事(工藤利彦) ≪社会(地理)について説明≫

○委員長(九戸眞樹委員) ただいまの教科用図書「社会(地理)」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。

○1番(九戸眞樹委員) 教科書毎に差がありますか。

○学校指導課指導主事(工藤利彦) 同じような内容を扱っているものでも、グラフや写真、地図を併せて載せているなど示し方に差があります。

○1番(九戸眞樹委員) 昔から比べると写真が奇麗で、すごいビジュアルですね。全ての教科書を見て、やたらと漫画が描かれているのは良くないと思いました。

○2番(前田幸子委員) 全体的な感想ですが、すごく親切ですね。教科書というよりは雑誌という印象を受けました。この傾向は年々強くなっているのですか。

○学校指導課指導主事(工藤利彦) 地理・歴史については、資料集を使わなくても教科書のみで間に合うようなつくりになってきております。

○2番(前田幸子委員) 雑誌という感覚で見ることができ、子どもたちには興味と関心が沸く教科書ということですね。

○1番(九戸眞樹委員) 帝国書院には、災害の記述が詳しく載っていますが、東京書籍もそうですか。

○学校指導課指導主事(工藤利彦) 災害を扱っていないということはないのですが、帝国書院は地図を非常にしっかり作っている会社ですので得意なところではあります。

○委員長(九戸眞樹委員) 他にご質疑等はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(九戸眞樹委員) 次の教科用図書の説明をお願いします。

○学校指導課指導主事(工藤利彦) ≪社会(歴史)について説明≫

○委員長(九戸眞樹委員) ただいまの教科用図書「社会(歴史)」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。

○2番(前田幸子委員) 東京書籍の「表記・表現・造本」で、「カラーバリアフリー

に配慮し」とありますが具体的な説明をお願いします。

- 学校指導課指導主事（工藤利彦） 先程の地理と同様に、歴史も地図資料や写真資料など様々な資料が一つの見開き、あるいはページに併せて示されることが多くなっており、また、他社にも見られることですが、明治期の写真は着色カラーで示す傾向が強くなっているように思います。同じような着色カラーの写真を使っても、やはり昔の写真をそのまま使用したり、印刷の関係もあるかと思いますが非常に強い色合いで示されるカラー写真を使用する会社も見られる中で、東京書籍は少し抑え気味にしてあったり、あるいは同じ明治時代であっても屯田兵の写真を見てわかるように、見たとき目に入りやすく色の強さを感じさせないなどの配慮がなされていると思います。
- 2番（前田幸子委員） 歴史の教科書は難しいと思いますので、各社とも気を遣って作っていると思いますが、偏った部分とか感じられるところはありますか。
- 学校指導課指導主事（工藤利彦） 上位3社についてはありませんが、7社すべてとなりますと言いきれないと思います。
- 1番（九戸眞樹委員） 会社特有の色を出している教科書もあります。歴史の好きな人にとっては深く掘り下げている部分に魅力を感じると思いますが、歴史の入口を学ぶということであれば偏りすぎと感じました。
- 学校指導課指導主事（工藤利彦） 文章の割合であれば目に見えてわかります。
- 5番（一戸由香委員） 自分の頃がどうであったかを考えると、教科書で学ぶ、教科書を学ぶことが違うと感じました。指導者の活用する力が試されると思います。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（工藤利彦） <<社会（公民）について説明>>
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「社会（公民）」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。
- 1番（九戸眞樹委員） 18歳の選挙権に向け中学生のうちしっかり勉強しておく分野なので影響が大きいと思います。模擬選挙のこともありますし、なぜ自分たちが投票しなければならないのかということ順序良くわかってもらえるような章立てにする必要があります。東京書籍は興味深く進んでいけるような章立てになっていたと思います。他社より丁寧でした。
- 学校指導課指導主事（工藤利彦） 選挙権に関しては歴史学習も大切であり、この関連分野の中で振り返りができると思います。
- 3番（佐々木 健委員） 教科書は20歳の記載となっておりますが、来年使う教科書は18歳になりますか。
- 学校指導課指導主事（工藤利彦） 合わせていくと思います。1社だけが18歳の選挙権について記載しておりますが、来年は法律に沿った形になります。
- 2番（前田幸子委員） 東京書籍には弘前が載っていますが、他の教科書ではどうですか。公民で地方を載せるのはめずらしいと思います。

- 学校指導課指導主事（工藤利彦）　ここまで詳しく載せているのはありませんが、文化の扱いとして同じように載せているところはあります。
- 委員長（九戸眞樹委員）　他にご質疑等はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員）　次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史）　　《地図について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員）　ただいまの教科用図書「地図」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員）　帝国書院は地図のベテランですが、東京書籍も追い付こうとしていることは感じられますか。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史）　特色が同じようになってきていると思います。東京書籍もカラーバリアフリーになってきており、色覚に関して苦手な子どもがいた場合、全て白黒に見えたとしても立体的に見えるかどうかも考えております。また、色が強すぎて立体のところよりも、色が違う線が逆に浮き立ってしまうことから淡い色にしているそうです。しかし、全体的に地図を見たとき、東京書籍は暗く、帝国書院は明るい印象が持てます。
- 2番（前田幸子委員）　色を落としている部分が、色覚に関して苦手な子どもに配慮しているということですか。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史）　色を落とすと立体図的に際立ってくるということでもあります。帝国書院も立体的に書いているのですが、色覚に関して苦手な子どもが白黒に見えてしまったとき、立体的なところでの違いより平坦なところでの色が違う線の方が見えてしまうということです。
- 1番（九戸眞樹委員）　どちらの教科書も東北が載っているページが少ないですね。
- 5番（一戸由香委員）　今回、教科書が東京書籍で、資料という意味合いで同じような写真が使われていない別な会社であるというのは良いと思います。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史）　東京書籍の方は、地図帳というよりは地図の資料集という感じがします。
- 3番（佐々木 健委員）　帝国書院の索引の文字が小さく感じます。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史）　帝国書院の方が文字は小さいです。
- 委員長（九戸眞樹委員）　他にご質疑等はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員）　次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（三上俊英）　　《数学について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員）　ただいまの教科用図書「数学」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員）　東京書籍の「組織・配列・分量」に「スパイラルな学習が行える」とありますがどういうことですか。
- 学校指導課指導主事（三上俊英）　教科書には練習問題が記載されておりますが、もっ

と勉強したいときにはその隣にさらに練習問題が記載されており、そのページの下の方に補充の問題として今の問題よりレベルアップした問題が記載されています。さらにスパイラルをかけるような問題が教科書後半に記載されています。すべてを授業中に行うのは無理です。そのため、いくつかは宿題になり、いくつかは家庭学習でやることとなります。その際、自分はどこをやればいいのかを示してくれており、スパイラルな関係を示してくれていることとなります。

- 1番（九戸眞樹委員） 基礎を固めるという意味では親切ですね。数学はどこでわからなくなったかがわかればいいわけです。わからなくなったところをきちんと固めていくというのが、この教科書のように補足があればそういうことがないと思います。

私は「社会と繋がる」がすごく面白いと思います。数学の面白さはそういうところにあると改めて思いました。

- 5番（一戸由香委員） 全体的に身近な問題が載っていて面白いと思います。
- 2番（前田幸子委員） 教科書の一部を三角定規のように使っていて、このような活用の仕方はすごいと思います。現物を使っているということが、子どもたちにとって身近でわかりやすく、そういうのに繋がっていくと思います。やはり数学嫌いというのは、現実と結びつかない部分がありました。学問という黒板に数字だけを書くものが、今は生活と結びつく、現物と結びつくのがすごいと思います。

- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。

- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） <理科について説明>

- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「理科」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。

- 2番（前田幸子委員） 他の教科書には地域の資料が載っていますか。

- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） ほとんどありません。飛び抜けて学校図書が1年生で7点、2年生で2点、3年生で9点載っております。ちなみに、前は1年生で1、2点の採用でありましたので、今回は力を入れて県内のものを取り入れていると感じました。

- 5番（一戸由香委員） 教科書の表記が理科ではなく科学となったのはいつからですか。私にとって科学というのは1分野のイメージです。

- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） 教科は理科です。物理や化学、生物、地学の分野で1冊ということになります。なぜ理科の教科書の表記が、科学となっているのかはわかりません。もしかすると教科書会社の名前の付け方だと思います。

- 2番（前田幸子委員） 学校図書は、他の教科との関連性みたいな形で構成されています。キャリア教育ばかりではなく、いろいろな分野で活用できるように、例えば音楽の分野からも音の性質という形で取り上げています。

学校図書の「表記・表現・造本」に「計算問題を扱う場面」とありますがどうい



うことですか。

- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） 理科では、濃度の学習などで計算問題があります。理科で苦手さを感じるところに、この計算に対応できないという部分がありますので、この部分を手厚くわかるように掲載しております。
- 1番（九戸眞樹委員） 「科学を生活に生かす」の職業分野がすごく広く面白いです。
- 学校指導課指導主事（宮本隆嘉） 前回の教科書では、各分野とも1ページずつのイラストでありましたが、今回は各分野とも2ページずつ写真入りということで力を入れているのがわかります。
- 1番（九戸眞樹委員） 昔とかなり違うのはやはり理科だと思います。下手な絵で実験の絵を描かれていたときは理解が進みませんでした。写真で手順を示してくれることでこんなにわかりやすくなります。

また、レポートノートの書き方も良いと思いました。なかなかノートのまとめ方まで指導してくれる先生はいません。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史） ≪音楽（一般）について説明≫
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「音楽（一般）」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 教育芸術社の「内容・程度」で「映画音楽を始め、様々なジャンルを取り扱う」とありますがどういうことですか。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史） 手持ちに資料がありませんので、後程お知らせいたします。
- 1番（九戸眞樹委員） 教育芸術社のほうは曲数が多いですね。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史） それは他の先生方も言うておりました。また、音楽の先生方が一番言うていたのが、教育芸術社のほうは楽譜が見やすいということです。教科書を手で持つところにしか絵が描かれておらず、また上に絵を描いていないので高さをさえ楽譜が見やすいという配慮があります。それは次に説明する「音楽（器楽）」でも同じことが言えます。その他については、両社とも変わりありません。
- 2番（前田幸子委員） 教育芸術社の教科書は開きやすくなっていて、譜面台に乗せても閉じないという配慮がありますね。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史） ≪音楽（器楽）について説明≫
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「音楽（器楽）」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 教育芸術社の「表記・表現・造本」に「運指」とありますが

読み方を教えてください。

- 学校指導課指導主事（小笠原恭史） 「うんし」と読み、指の運びのことであります。  
先程の音楽（一般）同様、教育芸術社は教科書左上に目当てが常に記載されており、今どのような授業をしているのか常に振り返ることができることがとても助かると音楽の先生が言っておりました。
- 1番（九戸眞樹委員） すごくビジュアルで使いやすそうな教科書ですね。
- 2番（前田幸子委員） 教育出版も工夫して追い付こうとしていますね。
- 学校指導課指導主事（小笠原恭史） 見開きのあたりはそうです。ただ音楽の先生方は、教育出版は写真や絵を多く使い、イメージを膨らませやすくするという配慮がなされているということですが、そこにスペースが取られてしまい本来学ぶべきことが小さくなってしまっていると言っておりました。
- 3番（佐々木 健委員） 私たちが中学生のときの器楽は、ほとんどリコーダーでしたが、今はリコーダーの他にも器楽を使うことになっていますか。
- 学校指導課長兼教育センター所長（佐藤忠浩） 和楽器があります。また、その他に創作というのがあり、その中でいろいろな楽器を組み入れ表現したりします。
- 1番（九戸眞樹委員） 学校によって様々な楽器を設備しているところとないところはありますか。
- 学校指導課長兼教育センター所長（佐藤忠浩） そうなります。
- 3番（佐々木 健委員） ギターなどであれば学校で揃えるのは難しいですね。
- 学校指導課長兼教育センター所長（佐藤忠浩） 全員分は難しいです。
- 1番（九戸眞樹委員） 教科書の中だけでなく実際に触れることが一番ですね。
- 3番（佐々木 健委員） 例えば、和楽器はねふたの笛でもいいのですか。
- 学校指導課長兼教育センター所長（佐藤忠浩） 篠笛の仲間になりますので大丈夫です。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（後藤光生） <<美術について説明>>
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「美術」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 日本文教も悪くないと私自身思ったのですが、開隆堂のどこが良かったのですか。
- 学校指導課指導主事（後藤光生） 私もそれぞれの教科書が良いと思いました。ただ、開隆堂が良いと思うところは、言葉が心に響くところです。2、3年生の1ページ目をご覧ください。例えば「人と違っているところ、同じところ、それぞれ良い」とありますが、これは人と違っているところは個性だから良いということ、人と同じということは、みんなが大切にしているものを自分も大切にしているのだから、とても良いものを大切にしているんだねということで、言葉がすごく心に響き、道徳に繋がっているところが良いと思います。

- 2番（前田幸子委員） 光村図書は、教科外の先生でも具体的に取り組みやすいと思うのがありました。
- 1番（九戸眞樹委員） 1年生の教科書に学習を支える素材の説明があります。
- 2番（前田幸子委員） やはりそれぞれの教科書にそれぞれの良さがあるということですね。
- 1番（九戸眞樹委員） 私は光村図書の「風神雷神」の絵に芸術性が高いと感じました。  
昔から比べると大判になり、より見せると言いますか、美術本来の教え方ができる教科書になっていると感じました。
- 3番（佐々木 健委員） 小学校の教科書で、開隆堂は造形遊びに力を入れていたと思います。
- 1番（九戸眞樹委員） 日本文教は、教科書としての形が整っていると思います。
- 2番（前田幸子委員） それぞれの好みですね。
- 3番（佐々木 健委員） 開隆堂に掲載されている生徒作品は、青森県の子どもの作品かどうかわかりますか。
- 学校指導課指導主事（後藤光生） 2、3年生の教科書をお開きください。ブナコのランプシェードが載っていますが、これはたぶん弘前の生徒の作品かと思います。
- 2番（前田幸子委員） 以前は教科書会社の人たちが、いろいろな所に行き作品を集めていましたが、最近はどうもなくなったのですか。
- 学校指導課指導主事（後藤光生） 作品が良すぎるものは完成されていて創作意欲を失うのであまり良くないと教科書会社の人が言っていました。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（三ッ橋一弘） 《保健体育について説明》
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「保健体育」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 東京書籍の「表記・表現・造本」に「ユニバーサルデザインに基づき、文字のサイズも大きく」とありますが、それほど文字が大きいとは感じません。
- 学校指導課指導主事（三ッ橋一弘） どの教科書もそのことに配慮しており、東京書籍も配慮しているということです。
- 2番（前田幸子委員） どの教科書にも必ずストレスに関する対応を載せなければならないという決まりがありますか。
- 学校指導課指導主事（三ッ橋一弘） 学習指導要領に示されている内容はすべての教科書会社で網羅しております。
- 2番（前田幸子委員） やはり必ず載せなければいけないのですか。
- 学校指導課指導主事（三ッ橋一弘） そうです。

- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。  
 （「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） ≪技術・家庭（技術）について説明≫
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「技術・家庭（技術）」の説明に対して、ご質疑等ございませんか。
- 1番（九戸眞樹委員） 昔は必ず本棚を作っていましたが今は何を作るのですか。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） 東京書籍の実習例をご覧ください。飾棚のように木材加工がありますので、実際のこぎり等を使い物を作るというのは現在でも行っております。
- 2番（前田幸子委員） 東京書籍の「表記・表現・造本」に「爪見出し」とありますがどういうことですか。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） 指で確認しながら開きやすく常に探しやすい工夫になっております。
- 3番（佐々木 健委員） 東京書籍は初めに実習の安全を載せています。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） 東京書籍は安全ということには非常に重要視しているところであり、4ページに渡り載せております。他の教科書会社に比べますと安全について大切に扱っております。
- 3番（佐々木 健委員） 安全の次に技術というものの考え方で「夢を叶えていく」、そこからスタートしていくことが載っています。初めから物作りでなく、何のための技術なのか、将来のための夢の実現を載せています。  
 しかし、1ページに載せている情報量はすごく多いですね。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） そこについては、意見が分かれたところであります。実際研究調査を進める中で、情報量というところで1つありました。実際に開いて確認するとなったとき、作業工程が2ページの見開きで横流れに一連の流れとしてできていて、非常にそこは確認しやすいということになっております。また、実際の写真の大きさも大きく取れるようになっておりますので、見開きをして実際作業をしていくとなったときも確認をしながら進めていける造本だという意見も多くありました。
- 2番（前田幸子委員） サイズが大判になったから内容量も豊富だということですね。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） 実際に紙質も変わっておりますので、写真の見栄えで非常に綺麗な表現ができております。
- 3番（佐々木 健委員） この教科書は3年間使うのですか。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） 3年間使いますので、最後に3年間のまとめということで確認できるページがあります。
- 1番（九戸眞樹委員） 防災手帳が付いていますね。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） 学習指導要領では、技術の教科で防災を必ず触れなければならないというわけではありません。しかし、東日本大震災を経験した子どもたちを考えますと、技術と防災の繋がりを意識してまとめてあるのは大きな特徴であ

と思いますし、子どもたちにとってはこのような形で技術と防災を考えていくのは非常に優れた教科書であると思います。

○委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。

○学校指導課指導主事（土岐賢悟） <技術・家庭（家庭）について説明>

○委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「技術・家庭（家庭）」の説明に対して、ご質疑等ございませんか。

○2番（前田幸子委員） 今まで開隆堂を使ってきましたが、東京書籍になった理由は何ですか。

○学校指導課指導主事（土岐賢悟） 東京書籍が大きく改善されてきたということをお知らせします。現在の開隆堂も非常に優れた教科書であります。東京書籍はガイダンスのところに先程もお話のありました安全に関する項目が追加されており、安全ということについて重要視しております。教科書には、調理の実習であるとか様々なことの中で安全に関する項目がありますが、このガイダンスのところでしっかり取り上げているのは東京書籍だけとなります。

さらに、学習指導要領の給食の献立の活用がこの中に入っておりますが、給食との関連ということで、教科書を基にして学習を進めていけるのは現段階で東京書籍だけとなります。

さらに、言語活動ということで他の教科書につきましては、最後に索引として家庭科の言語についてまとめられておりますが、東京書籍では例えば第1編食生活のところのまとめのページがあり、そこに大切な用語ということで、章毎に使われる大切な用語がまとめられております。また、最後のページに索引があり、それぞれの内容で扱う家庭科ならではの言葉がまとめられており、実際学習の中でまとめていくということになった時には、言語活動の中で様々プレゼンテーションをしたり、ポスターを使うなど発表の事例ということで具体的に載っております。そういった活動の中で使いやすい内容になっております。その他の教科書は、索引だけということになりますので、そこから拾っていくということになります。東京書籍は章毎にまとめられていて、実際に探しやすい、活用しやすいということも1つの理由であります。

さらに加えて言いますと、左利き右利きのお子さんのための包丁の使い方、縫物の仕方の2箇所左利きの場合ということで写真も併せて載っております。左利きのお子さんも多いかと思っておりますので、左利き右利きどちらのお子さんにも配慮している教科書は東京書籍だけとなります。

総合的なところで、東京書籍が前回の教科書よりも新たに加えて充実させているというところで評価が高かったということでもあります。

○2番（前田幸子委員） 他の教科との関連も表示していますね。保健体育「健康な生活と疾病の予防」や、道徳では「生活習慣と節度節制」と関連していることが表記されています。

- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） 技術、家庭それぞれに関連することはありますが、道徳も含め他教科との関連の中で活用していきやすいと思います。
- 2番（前田幸子委員） 道徳が教科になることを考えたうえで、この教科書が作られているということですね。
- 学校指導課指導主事（土岐賢悟） 現行の学習指導要領から幼児のふれあい体験が出てきておりますが、これも道徳との繋がりということで関連する部分が多く載せられております。
- 委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（九戸眞樹委員） 次の教科用図書の説明をお願いします。
- 学校指導課指導主事（森尚生） <英語について説明>
- 委員長（九戸眞樹委員） ただいまの教科用図書「英語」の説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。
- 2番（前田幸子委員） 選出された学校図書の教科書を見ますと、色が強い感じがしますがどうですか。
- 学校指導課指導主事（森尚生） そのことについては評価が悪いところでありました。選定委員も語の並び、品詞毎に色分されている色が強いという意見がありました。
- 2番（前田幸子委員） なぜこのような色分けにしたのか説明はありましたか。
- 学校指導課指導主事（森尚生） 色のことに関して説明はありません。
- 3番（佐々木 健委員） ユニバーサルデザインの色使いと記載されていますね。
- 2番（前田幸子委員） 色分けが多く分かりづらいような気がします。それ以外については良いと思います。
- 学校指導課指導主事（森尚生） 私が使うのであればここは強調しないと思います。
- 2番（前田幸子委員） 点字を使うなどきめ細かい配慮をしていますが、色に対してはどうかと思います。
- 1番（九戸眞樹委員） 他の教科書と比べて差がありますね。
- 3番（佐々木 健委員） すごいビジュアルですね。
- 2番（前田幸子委員） 頭に残るようにしたということですか。
- 5番（一戸 由香委員） タブレットの教材やゲームを見ても、カテゴリー毎に色分けされていますので、もしかしたら頭に入りやすいかもしれませんが、視覚障害がある子どもにはどうなのかわかりません。ただ、私たち大人が見たときと中学生が見たときは受け止め方が違うと思います。
- 3番（佐々木 健委員） それが子どもたちにとって普通なのかもしれませんね。
- 1番（九戸眞樹委員） 雑誌を見ている目から見ると普通かもしれませんね。
- 2番（前田幸子委員） 東京書籍には落語がありますね。
- 1番（九戸眞樹委員） 日本文化の紹介が英語でありますね。
- 学校指導課指導主事（森尚生） 落語ではありませんが、例えば宮沢賢治の注文の多い料理店が掲載されております。内容が頭に入っているので英語を読んでも推測できる

という配慮だと思えます。

○委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） それでは、議案第22号全般にわたる事項についてご質疑等ございませんか。

○3番（佐々木 健委員） 現場の先生方の意見は聞いていますか。

○学校指導課長兼教育センター所長（佐藤忠浩） それぞれの種目について、学校からの調査報告書をいただいております。また、適切かどうかについては集計し勘案しております。

○委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） それでは、議案第22号を可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認めます。よって議案第22号は原案どおり可決されました。

以上で本日の会議に付議された案件の審議はすべて終了いたしました。これをもって平成27年第11回弘前市教育委員会会議を閉会いたします。

午後4時29分閉会

---

会議録作成者

弘前市教育委員会

教育政策課総務係主事 千葉 秀克

弘前市教育委員会

委員長 九 戸 眞 樹

署名者 前 田 幸 子

署名者 佐々木 健